

1 消防の概要

(令和3年4月1日現在)

市町村数	消防本部数		消防一部事務組合構成団体数				消防本部・署	消防本部数	20	消防水利	消火栓	公設		45,835
	単独	組合	計	市	町	村						私設	238	
42	14 (委託5)	6	23	5	17	1	出張所数	64	消防水利	防火水槽	100㎡以上	228		
							消防吏員数(うち女性)	2,781(61)人			60~100㎡未満	505		
							消防長の専任・兼任の別	専任 20人 兼任(署・課長) 0人			40~60㎡未満	7,515		
							救急隊員数	1,818人			20~40㎡未満	1,807		
面積							10,621.32 km ²	救急救命士数(資格者)	782人	井戸	3,019			
2年国調人口(確定値)							1,978,742人	消防団数	44団	その他	2,027			
3.1.1 住基人口							1,975,982人	分団数	450団	たん白系	3%	0kl		
3.1.1 住基世帯数							781,311世帯	非常勤消防団員数(うち女性消防団員)	21,518人(607人)	6%	0kl			
2 年 火 災 件 数	出火件数		総数	607件		消防ポンプ自動車等現有数	区分	消防本部・署	消防団	化学消防薬剤備蓄状況	合成界面活性剤	29.6kl		
			建物火災	316件			普通消防ポンプ自動車	74	428		水成膜泡消火薬剤	1.16kl		
			林野火災	24件			水そう付消防自動車	95	4		水溶性液体用泡消火薬剤	4.29kl		
			車両火災	56件			はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)	10	—		粉末消火剤	第3種	169kg	
			船舶火災	0件			屈折はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)	8	—		第4種	0kg		
	その他火災	211件		化学消防自動車	19	—	消防用無線局	260MHz帯デジタル方式	固定局及び基地局		103			
	死者	26人		救急自動車(うち高規格救急車)	149(148)	—	移動局		1,792					
	負傷者	86人		指揮車	43	27	テレビ監視装置	9						
	建物焼損床面積	25,591㎡		救助工作車	33	—	望楼	—						
	建物焼損表面積	2,007㎡		小型動力ポンプ付積載車	0	932	火災報知専用電話	252回線						
焼損棟数	514棟		小型動力ポンプ(車輛に積載していないもの)	49	166	消防電話	92回線							
り災世帯数	295世帯		手引動力ポンプ	1	38	加入電話	589回線							
火災による損害額	2,485,628千円		広報車	66	8	救急指令装置	34回線							
出火率(人口1万人当たり)	3.07件		電源・照明車	2	2	消防費歳出合計額【E】	42,049,724千円							
2 年 救 急 件 数	救急件数		救急件数	80,409件		元年度市町村消防費等	普通会計歳出決算額【F】	1,150,180,346千円						
			うち	急病	51,223件		消防費財源内訳中の税等の額【G】	29,340,910千円						
			うち	交通事故	6,177件		消防費に係る基準財政需要額【H】	28,519,138千円						
	搬送人員	75,288人		電源・照明車	2		2	普通会計歳出決算額と消防費の割合【E】/【F】×100	3.7%					
	うち	急病	47,986人		資材搬送車		47	20	消防費税等財源と基準財政需要額の割合【G】/【H】×100	102.9%				
	うち	交通事故	6,122人		水そう車	14	1	人口1人当たり消防費【E】/R2.10.1	21,240円					
		交通事故	6,122人		その他の車輛等	67	23	人口1世帯当たり消防費【E】/R2.10.1	54,005円					

(注)火災・救急件数は令和2年中